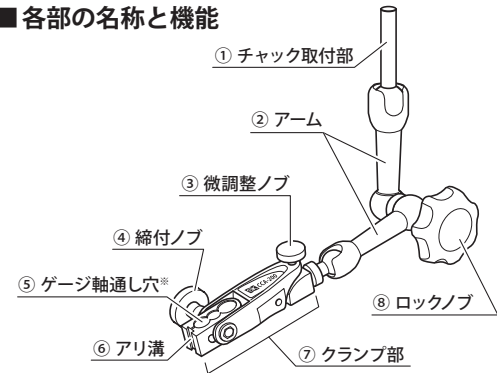


加工機芯出しツール 芯出し用チャックアーム

この度は「芯出し用チャックアーム」をお買上げいただきありがとうございます。
この商品はフライス盤やボール盤などの加工機のドリルチャックに取り付け、吊り下げて使用します。別売のダイヤルゲージやダイヤルインジケータなどの測定器を取り付けることにより、平行・垂直・内径・外径の芯出しが可能です。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る場所に大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社にご連絡ください。

■各部の名称と機能



- ①チャック取付部…フライス盤やボール盤などの加工機に取り付ける部分です。
- ②アーム……………測定器を支える支柱です。
- ③微調整ノブ……………回すことで、クランプ部の先端角度を微調整できます。
- ④締付ノブ……………測定器を固定するノブです。
- ⑤ゲージ軸通し穴…測定器のステムを取り付ける穴です。φ6mm用コレット付*
- ⑥アリ溝……………測定器のアリ板を取り付ける溝です。
- ⑦クランプ部……………測定器を取り付ける先端部です。
- ⑧ロックノブ……………締めることで、アームとクランプの角度をすべて固定します。

*ゲージ軸通し穴にはステム径φ6mm用のコレットが付属しています。ゲージのステム径に合わせご使用ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを右記のように説明しています。

注意 お守りいただかないと『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

- ◎ **取扱説明書をよく読み、指示に従う。**
・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。
- ◎ **下記の条件を満たす環境で使用・保管する。**
 - 雨や水、油などがつかからない、乾燥した場所
 - 高温にならない場所
 - 子どもや、使用者以外が近づかない場所
- ・上記に反する場所での使用は製品の破損、事故やけがの原因となります。
- ◎ **製品の改造を行わない。**
・製品の破損や事故の原因となります。

- ⊘ **してはいけない内容『禁止事項』です。**
- ⊘ **必ず実行していただく内容『強制事項』です。**

- ◎ **フライス盤やボール盤などの加工機に取り付ける際は、本製品が落下しないよう確実にチャックする。**
・落下による事故やけがの恐れがあります。
- ◎ **大切に取り扱い扱う。**
 - ・ぶつける、落とすなどの衝撃を与えたり、重量物を上に乗せたりしないでください。破損の原因となります。
 - ・ロックノブを締めた状態で、無理にアームを動かさないでください。破損や故障の原因となります。
 - ・製品に傷をつけないでください。

使用前の準備

ご使用前に、下記の準備を行ってください。

- **変形や破損が無いが確認する**
製品に変形や破損がある場合は使用できません。
- **取り付ける測定器を準備する**
左記『仕様』欄の『測定器取付可能サイズ』に沿って、取付可能な測定器（ダイヤルゲージ・ダイヤルインジケータなど）をご用意ください。

製品仕様

- 本体寸法：W61×D40×L240mm
- アーム・クランプ部長さ：65+48+87mm
- チャック取付部寸法：φ8×40mm
- クランプ部微動送り角度：約0～10°
- 本体質量：約200g
- 測定器取付可能サイズ：
φ6mmステム／φ8mmステム／アリ板
- ※ダイヤルゲージの耳金には取り付けできません。

使用方法

加工機への取り付け

- ①チャック取付部をフライス盤やボール盤などの加工機に取り付けます。(図1)

注意 落下による事故やけがの恐れがありますので、チャック取付部をしっかりと締め付けてください。

測定器の取り付け

- ①締付ノブをゆるめて、測定器のステムをゲージ軸通し穴へ差し込みます。(図2)

※φ8mmステムの測定器を取り付ける場合は、ゲージ軸通し穴に取り付けられているステム径φ6mm用コレットを取り外してください。

- ②締付ノブを締めて、測定器を固定してください。

※測定器のアリ板で取り付ける場合は同様に締付ノブをゆるめ、アリ溝に通して締付ノブを締めてください。(図3)

注意 締付ノブを強く締めすぎたり、測定器のステム以外の部分で保持したりしないでください。測定器の破損や精度不良の原因となります。

アーム位置の調整

ロックノブをゆるめることで、すべての可動部のロックが外れ、アームを自由に動かすことができます。任意の位置でロックノブを締めると、アームの位置が固定されます。

注意 ロック状態でアームを無理に動かさないでください。アームと接続部がゆるみ、ロックノブが効かなくなります。

クランプ部角度の微調整

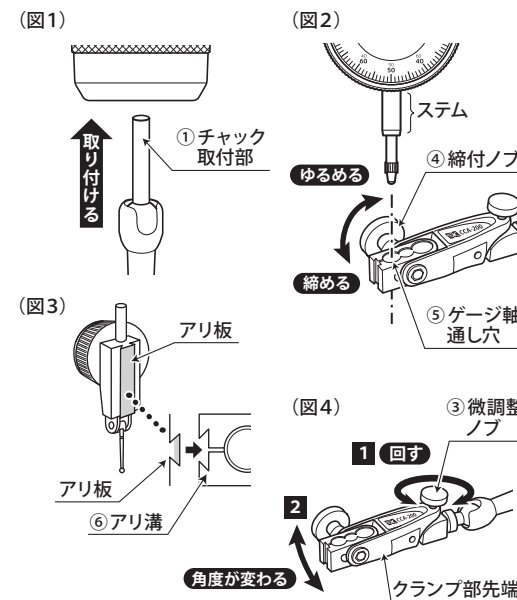
微調整ノブを回すと、クランプ部の角度が変わり、測定器の位置を調整することができます。(図4)

使用後のお手入れ・保管方法

- 汚れや油などを乾いたウエスで拭き取ってください。
- ロックノブをゆるめて保管してください。
- 直射日光の当たる場所、高温多湿の環境を避け、管理者以外が触れない状態で保管してください。

修理の際は

- 正常に作動しない場合や、不明な点がございましたらお買い上げの販売店または、当社までご連絡ください。
- お問い合わせや、ご連絡が無いまま直接当社に修理品などを送付されても処理、対応ができない場合がありますのでご了承ください。



測定例<内径の芯出し>

- ①チャック取付部がおおよそワーク内径の中心位置に来るように、ワーク位置を調整します。
- ②ワーク内側に測定器の測定子を当てて、ゆっくりと一回転させます。(図5)

③針の振れがなくなったら、チャック取付部の位置が内径の中心になります。(図5)

注意

取り外しの際は、測定子の破損を防ぐため、測定器の測定子を先に逃がしてから、本製品を取り外してください。